

O-4-02

健康サポート薬局としての当薬局の取り組み

○山田 裕介、北島 孝臣、北島 三枝

タイヘイ薬局上峰店

【目的】2016.10.1より健康サポート薬局制度が始まり、薬剤師の業務も従来に比べ、より地域医療への貢献が求められている。当薬局は、2017.2.9より健康サポート薬局に資格を有するようになった。現在では、健康サポート薬局として、様々な地域活動を行っている。また、ケアマネージャーや連携機関との関係も密になり、依頼される業務も増え、仕事の質も以前に比べて向上している。今回は、当薬局の健康サポート薬局を有してからの具体的な取り組み、および、取り組み後の薬局業務の変化を検討した。

【方法】当薬局が行っている具体的な取り組みは、1.地域の老人クラブやデイサービスの利用者を対象とした薬の講演会、2.地域包括ケアセンターの定例会議の出席である。2は各メディカルスタッフが現在直面している議題を持ち寄り、みんなでディスカッションをしている。これらの取り組みとは別に、月に1回当薬局の待合室で健康相談会を実施している。

【結果】1.の講演会は、非常に好評で、老人クラブの講演会には約40名、デイサービスの講演会には約60名参加していただいた。2.においては薬剤師の参加により薬の討論ができるようになったと私たち薬剤師の存在が重宝されている。これらの取り組みにより、当薬局が健康サポート薬局を有していることが周知され、薬局への質問や健康相談会の参加者は増えた。健康相談会には講演会前まで参加者は1～3名だったが、常時3～7名参加してもらえるようになった。

【考察】今回の取り組みにより、地域の住民、メディカルスタッフから薬剤師が必要とされていることが分かった。また、以前は行っていなかったが、連携機関の病院より薬事委員会や退院カンファレンスの出席、ケアマネージャーより患者宅への同行の依頼をされるようになった。今後の展開として、地域で行われている認知症カフェの参加や、薬局内でバイタルサインの測定をするための設備投資を計画している。